

こんにちは!ランナスです!IYEOを応援してくださる方
一緒に活動してくださる方を募集しています!

日本青年国際交流機構(IYEO)は、社会に貢献できる団体として発展していくたいと考えています。そのためには、全国組織としてのIYEO活動や都道府県IYEOの活動の充実、関係者及び新しいパートナーとの連携、国際・国内ネットワークの活用、効果的な情報交換などを通して、国際交流を切り口に、社会に影響を与える青年層の育成を継続していくこと、それが広い意味で、共生社会の実現につながっていくと考えて活動をしています。この活動のサポーターになってみませんか?



IYEO活動へのご支援のお願い(寄付)

IYEO活動は、自主事業による収益の他、皆様からのご寄付によって支えられています。いただいた寄付は、当機構で実施する活動にあてられ、その報告は広報誌及びウェブサイトでご覧になれます。

一口1,000円から何口でも承ります。IYEOはボランティアの任意団体です。そのため、寄付金控除の対象ではありませんことをご了承ください。

活動活性化のための寄付 ~IYEO組織基盤作りのために~

<ゆうちょ銀行>

加入者名：日本青年国際交流機構

口座番号：00190-2-464228

<他行から振込>

銀行名：ゆうちょ銀行

店番号：019(ゼロイチキュウ)

預金種目：当座

口座番号：0464228

口座名：日本青年国際交流機構

寄付の際には、Email: iyeobokin@iyeo.or.jp または、通信欄にて、下記についてご連絡をお願いします。
1.氏名 2.参加事業名
3.事業参加年度 4.ホームページ寄付者名記載希望 5.住所
6.電話番号 7.メールアドレス

IYEO入会のご案内

「次世代リーダーを育成し、地域活性化国際社会へ貢献する」IYEOの活動目的に賛同する方にご入会いただいています。

会員には、年2回広報誌の送付、通年メンバーリングリストによる情報提供を致します。

所属する都道府県IYEOにより年会費が設定されています。

正会員、一般会員、賛助会員、団体会員の種別があります。申込みについてはIYEO事務局へご連絡ください。

IYEO事務局 secretariat@iyeo.or.jp

What is Humano?

Humano(ウマノ)はラテン語で「人」。本誌は、人と人の交流が世界の平和を紡ぎ出すと考えるIYEOの活動を紹介する冊子です。

IYEO広報誌 HUMANO Vol.4

編集・発行 日本青年国際交流機構(IYEO) International Youth Exchange Organization of Japan

〒103-0013東京都中央区日本橋人形町2-35-14東京海苔会館6階

電話:03-3249-0767 / FAX:03-3639-2436/ E-mail:humano@iyeo.or.jp



2019.7

ウェブサイト<https://www.iyeo.or.jp/> 2019年1月にリニューアル! 活動報告や会員のインタビュー等、随時更新中!
IYEOでは、右記のfacebookページ、Twitter公式アカウントを運用しています。 facebook[iyeo] Twitter[iyeo]

HUMANO

Vol.4

CONTENTS

日本青年国際交流機構 (IYEO)

会長挨拶—1

IYEO活動方針・分野—2

2018年度活動報告

～特集 ワーキンググループによるIYEO活性化～—3

IYEO組織構成—5

地域における活動—7

国際的なネットワーク、同窓会活動—9

大規模災害復興支援活動—11

国際的な活動—13

IYEOへのサポート—15



日本青年国際交流機構
International Youth Exchange Organization of Japan (IYEO)



Fostering the next generation of leaders, to revitalize the local community and contribute to the global society.

次世代リーダーを育成し、
地域活性化・国際社会へ貢献する



日本青年国際交流機構(IYEO)
会長挨拶

高下 正晴

平成の30年間が終わり、新しい時代が始まりました。IYEOもまさにそういう時期に来ていると感じます。

IYEOが、今後も今まで以上に面白く、刺激的で、魅力的な団体であり続けるために、平成30年度からワーキンググループによる事業運営に挑戦しました。全国の皆さんに都道府県の枠、国境の枠を越えて、自分のスキルやネットワークを活かして、IYEOに貢献していきたいというものです。6つのプロジェクトが立ち上がり、これまで都道府県IYEOでの活動で表に出て来ておられなかった方も活動に加わっていただけました。

特に、長年の課題であったホームページのリニューアルについては、ワーキンググループという形だからこそできることかもしれません。全国の会員がオンライン上で繋がり、それぞれのスキルをいかしながら素晴らしいホームページを完成させました。ぜひご覧ください。

<https://www.iyeo.or.jp>

また、これまで一部の本部役員が中心となって運営していたファンドレイジング「IYEOキラギット」について、ワーキンググループという形をとることで、役員以外のメンバーも関わって実施できました。ワーキンググループによる取組は、これまで関わなかった人に多様な機会を与え、活動の可能性を大きく広げるものになると考えています。今後も、多くの挑戦が生まれるのが楽しみです。

2月には上皇陛下が天皇陛下としての御在位30周年を祝う式典が行われました。内閣府青年国際

交流事業は皇室との関係が深いことから、IYEOは内閣府からの推薦により、式典に出席するといいへん名誉な機会をいただきました。先輩方がこれまで築いてこられた基盤の上に現在のIYEOがあります。新しい時代に替わっても、これまで以上に地域の国際化に寄与し、青少年の育成に努めていこうと気持ちを新たにする機会となりました。

お代わりに伴い、内閣府青年国際交流事業も一部見直しがなされます。特に、航空機による青年海外派遣事業は更に魅力的な事業になります。これまで派遣される国は1か国だけでしたが、1地域の中で2か国に派遣されることになり、より多くの経験を積むことができます。より多くの地域の青年が内閣府青年国際交流事業を通じて世界と繋がる機会を作れるよう、IYEOとして働きかけていきましょう。

本年度は、IYEO入会のあり方についても検討を始めています。IYEO発足以来の仕組みの整理と工夫をして、今後は事業に参加したばかりの新入会員が地域での活動に加わっていきやすいよう支援し、地域での活動を作るIYEOも新入会員や、地域の国際交流に興味のある若者が参加しやすく工夫をするインセンティブが働く仕組みを検討しています。

新しい会員が次々と活動に加わり、地域に新しいエネルギーを作り、歴史あるIYEOがさらに魅力的に発展していくものにしていきたいと考えています。

冒頭にも書きましたように、いよいよ新たな時代が始まっています。IYEOの新しい時代を、一緒につくっていきましょう!

2019年度 日本青年国際交流機構(IYEO)活動方針 社会でリーダーシップを発揮できる 人材育成を目指して

現代のグローバル社会においては、幅広い視野を持って柔軟に新しい取組を考え、実行できる人材が必要とされている。平成27年の日本青年国際交流機構設立30周年を機に、次の10年を見据え、内閣府青年国際交流事業で培われた青年育成のノウハウと事後活動組織として半世紀を超えて築き上げた実績とネットワークをいかし、社会で活躍できる人材育成に取り組む。

また、全国の会員が有機的につながり、互いの活動をより良くしていく活動を推進し、さらなる組織の活性化に取り組む。

1.青年層活性化の基盤づくり

社会活動における青年のニーズを把握して、青年の活動の場作りと環境整備に取り組むべく、国に対して青年施策についての提言を積極的に行う。同時に、これまで培ったノウハウを次世代へ継承とともに、他団体との連携等による地域活動の促進、青年による社会の活性化を目指す。

2.地域社会に貢献できる人材育成

地域における国際交流活動を含む社会活動に積極的に取り組み、世界との距離を狭めるとともに、地域のニーズに合った貢献ができる人材の育成に努める。

3.国際ネットワークをいかした国際協力活動

国内外における様々な課題に対応するため、国際協力活動を推進し、社会に貢献していく。

主な活動分野

第1分野 青少年分野についての活動の啓発

第2分野 地域の活性化に資する活動

第3分野 地域における国際交流活動を基本にした人材育成

第4分野 内閣府青年国際交流事業の受入れへの協力及び自主事業による外国青年受入れ／派遣

第5分野 都道府県IYEO及び会員のネットワーク強化と活性化

第6分野 国際協力活動

第7分野 内閣府青年国際交流事業の外国参加青年とのネットワーク

第8分野 広報活動への積極的取組

第9分野 財政基盤及び組織体制の確立

IYEO Organization Structure IYEO組織構成

IYEOは、ボランティアによる任意団体で、無償ボランティアの役員による運営を基本としており、本部役員と47都道府県ごとに組織を置いています。また、運営委員会は本部活動の執行機関として、機関決定に従って活動を行うとともに、本会の活性化に資する自主的な活動(幹事会の承認の下)を行っています。

〈47都道府県8ブロック制〉

都道府県IYEO会長 2019年5月1日現在

【表記について】

●2019年5月1日現在 最初に参加した事業を掲載

●事業略称:航空機派遣(派遣先)、青年の船(船)、東南アジア青年の船(東ア)、世界青年の船(世界)、青年社会活動コアリーダー育成事業(コア)、県単派遣事業(県単)

日本・中国青年親善交流事業(日中)、日本・韓国青年親善交流事業(日韓)、グローバルリーダー育成事業(GLDP)、シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ(SWYリーダーズ)

●hq@iyeo.or.jpはIYEO事務局メールアドレス

●※会員代表

新潟県青年国際交流機構 小林 恵子 H10世界(11回) niigataiyeo@gmail.com
富山県青年国際交流機構 飯田 良智 H26コア(13回) iyeo_toyama@hotmail.co.jp
石川県青年国際交流機構 薄井 壮登志 H11世界(12回) ※hq@iyeo.or.jp
福井県青年国際交流機構 峯田 雅朗 H18コア(5回) fukuiiyeoh21@yahoo.co.jp
長野県青年国際交流機構 山岸 真梨子 H25東ア(40回) iyeonagano@yahoo.co.jp

滋賀県青年国際交流機構※ 中村 秀輔 H27東ア(42回) shigaiyeo@yahoo.co.jp
京都府青年国際交流機構 荒田 圭久 H1世界(2回) kyotoiyeo@hotmail.co.jp
大阪府青年国際交流機構 岩井 美紀江 H13世界(14回) osakaiyeo@gmail.com
兵庫県青年国際交流機構 中島 健太 H10日韓(12回) iyeo.hyogo@gmail.com
奈良県青年国際交流機構 長谷部 花觀 H26ラオス(21回) iyeo.nara@gmail.com
海友会(和歌山) 出羽 正典 H16日中(26回) kaiyukai.iyeo@gmail.com

とっとり青友会 河崎 忠義 H6東ア(21回) tottoriseiyuukai@yahoo.co.jp
国際ネットワークしまね 池田 俊貴 H20コア(7回) inshimane@gmail.com
岡山青年国際交流会 長木 愛 H12東ア(27回) okayamaiyeo@hotmail.co.jp
広島県青年国際交流機構 佐藤 孝志 H13日中(15回) hiroshima.iyeo@gmail.com
山口県青年国際交流機構 山田 耕慈 H18世界(19回) y_iyeo@yahoo.co.jp

九州ブロック
福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄

福岡県青年国際交流機構 有吉 美幸 H22カンボジア(17回) fukuokaiyeo@yahoo.co.jp
佐賀県青年国際交流機構 古財 夏実 H24ラトビア(19回) sagaiyeo@gmail.com
長崎県青年国際交流機構 山田 公美 H16コア(3回) ※hq@iyeo.or.jp
熊本県青年国際交流機構 生野 朋子 H26SWYリーダーズ ※hq@iyeo.or.jp
大分県青年国際交流機構 田中 一旭 H24コア(11回) oita.iyeo@gmail.com
宮崎県青年国際交流機構 荒武 千穂 S58東ア(10回) ※hq@iyeo.or.jp
鹿児島県青年国際交流機構 濑戸山 寛 H27コア(14回) kagoshimaiyeo@gmail.com
沖縄県青年国際交流機構 岸信 朋 H24世界(25回) okinawa.iyeo@gmail.com

北信越ブロック
新潟 富山 石川 福井 長野

近畿ブロック
滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山

中国ブロック
鳥取 島根 岡山 広島 山口

四国ブロック
徳島 香川 愛媛 高知

北海道・東北ブロック

北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島

北海道青年国際交流機構 平中 沙也香 H28世界(29回) hokkaidoiyeo@yahoo.co.jp
青森県青年国際交流機構 松浦 淳 H22コア(9回) aomorikiyeo2015@gmail.com
岩手県青年国際交流機構 高橋 直幸 H21世界(22回) iwateiyeo@yahoo.co.jp
宮城青年国際交流機構 早坂 玲美 H22日韓(24回) miyagi.iyeo@gmail.com
秋田県青友会 エヨング 宏枝 H14世界(15回) iyeo.akita@gmail.com
山形県青年国際交流機構 堀野 那菜 H21東ア(36回) ※hq@iyeo.or.jp
船と翼の会ふくしま 溝井 彩夏 H29東ア(44回) funetotubasa@hotmail.co.jp

関東ブロック

茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨

茨城県青年国際交流機構 岸田 まりな H26ラオス(21回) ibaraki-iyeo@hotmail.co.jp
栃木県青年国際交流機構 熊倉 百合子 H15日中(25回) tochigikiyeo@gmail.com
群馬青友会 青木 優子 H10日中(20回) gunma_seiyukai_iyeo@yahoo.co.jp
埼玉県青年国際交流機構 富田 美和子 H11世界(12回) saitamaiyeo@gmail.com
千葉県青年国際交流機構 石原 裕文 H19カンボジア(14回) chibaiyeo@gmail.com
東京都青年国際交流機構 神戸 知子 H13東ア(28回) tokyokiyeo@yahoo.co.jp
神奈川県青年国際交流機構 大野 裕章 H17東ア(32回) iyeokanagawa@yahoo.co.jp
山梨県青年国際交流機構 志村 理部香 H12日中(22回) ※hq@iyeo.or.jp

東海ブロック

岐阜 静岡 愛知 三重

岐阜県青年国際交流機構 大野 麻未 H17世界(18回) iyeogifu@gmail.com
静岡県青年国際交流機構 山口 貴美 H28世界(29回) shizuoka.iyeo@gmail.com
愛知県青年国際交流機構 小川 祐希 H18東ア(33回) info@iyeo-aichi.jp
三重県青年国際交流機構 川村 奈穂 H17日韓(19回) mie-iyeo@hotmail.co.jp

徳島県青年国際交流機構 萩原 八郎 S63東ア(15回) tokushima.iyeo@hotmail.co.jp
香川県青年国際交流機構 菅 圭介 H15世界(16回) kagawaiyeo@gmail.com
愛媛県青年国際交流機構 長瀬 智寛 H29世界(30回) e-iyeo@hotmail.co.jp
高知県青年国際交流機構 前田 正也 S55船(14回) kochiiyeo@outlook.jp

IYEO本部役員

2019年5月1日現在

*印は、運営委員会構成員

役職	氏名	参加事業
会長	高下 正晴	H2世界(3回)
副会長(国際)	白鳥 正信	H5東ア(20回)
副会長(組織)	本田 温子	H10世界(11回)
副会長(地方)	石崎 好章	H13日韓(15回)
副会長(活性化)	田中 純子	H7世界(8回)*
副会長(広報・PR)	長末 辰也	H12世界(13回)*
ブロック幹事	伊勢 みゆき	H12世界(13回)
北海道・東北	松川 裕子	H3東ア(18回)
関東	樋口 敦子	H5世界(6回)
北信越	白木 邦貞	H17世界(18回)
東 海	寺西 由佳	H12世界(13回)
近 畿	池田 俊貴	H20コア(7回)
中 国	坂本 愛	H9東ア(24回)
四 国	村本 きよみ	H10世界(11回)
九 州		
幹事	田畠 静吾	H16東ア(31回) (*)
事務局長	鹿島 健	H22日韓(24回) (*)
事務局次長	尾張 大隆	H24コア(11回) (*)
事務局次長	小島 まさ子	H20世界(21回)
幹事(船事業)	小田 玲美	H19日中(29回)
幹事(航空機事業)	大郷 和成	H25コア(12回)*
幹事(活性化)	池田 隆行	H21世界(22回)*
監査	野村 隆紹	H6日中(16回)
監査役	赤木 功	H7世界(8回)
顧問及び参与	大河原 友子	S62東ア(14回)
顧問	中野 智昭	S61船(20回)
参与	田中 克宜	S54アフリカ(21回)
参与	上杉 聖次	S54船(13回)
参与	吉岡 誠	H21日韓(23回副團長)

運営委員会

氏名	参加事業
運営委員 鈴木 良祐	H24日韓(26回)
運営委員 富澤 明久	H25日韓(27回)
運営委員 市川 高	H27ミ共(22回)
運営委員 竹中 里帆	H25リトニア(20回)
運営委員 石井 誠也	H29日中(39回)
運営委員 大尾 陽子	H18東ア(33回)
運営委員 中里 咲季	H29東ア(44回)
運営委員 山本 雄士	H22世界(23回)
運営委員 小野 かつみ	H25GLDP(26回)
運営委員 中山 愛	H27コア(14回)
運営委員 岡野 世奈	H30日韓(32回)
運営委員 中井澤 卓哉	H29東ア(44回)
運営委員 中野 晃介	H30東ア(45回)
運営委員 古川 遼	H30東ア(45回)
運営委員 吉村 茂子	H17世界(18回)
運営委員 中野 紘理	H20世界(21回)
運営委員 林 ひかり	H22世界(22回)
運営委員 諏訪間 健	H27SWYリーダーズ(28回)
運営委員 中川 将	H27SWYリーダーズ(28回)
運営委員 川口 健太	H28SWYリーダーズ(29回)
運営委員 村瀬 美咲	H28SWYリーダーズ(29回)
運営委員 桶口 尚子	H29SWYリーダーズ(30回)
運営委員 福原 英信	(一般会員)
運営委員 横倉 茗子	(一般会員)

Local Activities in Japan 地域における活動

IYEOは、各都道府県に青年国際交流機構を組織し、各都道府県が実施している青年国際交流事業に参加した青年たちとも連携を取りながら活動しています。

都道府県ごとのIYEO会員数は100名～1800名と幅広く、それぞれ活動の規模や内容は多様です。都道府県IYEOの1年間の活動のカレンダーで活動内容を紹介します。

2019年度内閣府青年国際交流事業の受入一覧

国際社会青年育成	10月11日～17日	茨城県・富山県・愛知県・香川県・岡山県・高知県
日本・中国青年親善交流	8月26日～9月1日	鳥取県・函館市
日本・韓国青年親善交流	7月29日～8月4日	三重県・岐阜県
東南アジア青年の船	10月26日～29日	青森県・岩手県・福島県・千葉県・神奈川県・新潟県・長野県・大阪府・佐賀県・長崎県・熊本県
世界青年の船	2020年2月21日～23日	山形県・静岡県・和歌山県・広島県・大分県
地域課題対応人材育成事業 「地域コアリーダープログラム」	12月2日～7日	島根県・石川県・鹿児島県

〈1年間の活動事例〉 2019年度の都道府県IYEOの主な活動予定



2019年度ブロック大会開催一覧

ブロック	開催県	開催日(案)	会場
四国	徳島県	7月20日～21日	徳島市(アミーゴゴミーティングルーム他)
北海道・東北	宮城県	7月27日～28日	石巻市
近畿	京都府(全国大会)	8月24日～25日	京都市(メルパレク京都)
北信越	福井県	10月19日～20日	(調整中)
中国	山口県	10月26日～27日	周防大島町(大觀荘)
関東	群馬県	11月9日～10日	桐生市
九州	沖縄県	2020年2月1日～2日	那霸市
東海	愛知県	2020年2月29日～3月1日	名古屋市



平成30年度 第34回全国大会 千葉大会

International Network 国際的なネットワーク

IYEOの活動は日本国内だけではありません。内閣府青年国際交流事業に参加した外国既参加青年たちは、世界的な人的ネットワークを形成し、各国での活動を展開しています。その母体となるのが、内閣府青年国際交流事業をルーツとする事後活動組織です。「東南アジア青年の船」事業はSSEAYP Internationalを、「世界青年の船」事業はSWYAA国際連盟と、それぞれ国際的組織を基盤に活動をしています。



「世界青年の船」事業既参加青年東京連絡会議

明治150年記念「世界青年の船」事業既参加青年東京連絡会議が2019年3月23日～27日に実施されました。11か国(日本含む)の事後活動組織の代表者が参加し、「世界青年の船」事業事後活動発表及びSWYAA国際連盟に関わる議題の協議、SWY実施のため主催者(内閣府)への提案をまとめました。



この会議は、各組織の活動の一層の活性化や、事後活動組織間、事後活動組織と内閣府との間の連携強化を図ることを目的に1998年度から開催されてきたものです。2012年度まで毎年開催された後、2015年度以降開催されておらず、3年ぶりの開催となりました。

「世界青年の船」事業をはじめとした内閣府青年国際交流事業の主な目的の一つは、国を超えた人的ネットワークの構築であり、本ネットワークの活性化は事業の核心に関わります。世界各国での事後活動を直近の日本参加青年が知ることで、既参加青年の今後の事後活動へのモチベーションの向上をねらった事後活動発表会には約50名が参加し、発表者に積極的な質問をするなどして多くのことを学んでいました。

第45回「東南アジア青年の船」事業事後活動

“#I am a peace warrior”

「東南アジア青年の船」事業参加青年は、船内ディスカッション活動・事後活動セッションの成果として、具体的な社会貢献活動を実施しています。第45回「東南アジア青年の船」事業日本参加青年は、同事業の外国参加青年と共に岡山県玉野市立日比中学校と共同で、「千羽鶴と平和メッセージの共同制作及び広島平和記念公園への共同献納を通して平和について考える活動」として、「#I am a peace warrior」を立ち上げました。

2018年10月25日～29日、第45回「東南アジア青年の船」事業の地方プログラムにおいて、岡山青年国際交流会(IYEO)協力の下、日本とASEANの計11か国の参加青年が、岡山県玉野市立日比中学校を訪問しました。その交流を通して、今後も交友関係を続けたいという双方の要望から、毎年日比中学校で行われている平和学習に参加青年が協力することになり、それを受け船内活動で「#I am a peace warrior」を企画しました。

まず岡山県を訪問した参加青年が中心となり、平和について考える自主活動を船内で企画し、11月28日、有志で

募った自主活動の参加者約90名と350羽の折り鶴と平和に関するメッセージを制作。2019年1月上旬に折り鶴とメッセージを日比中学校へ届けました。日比中学校生は残りの650羽の折り鶴と平和に関するメッセージを制作し、2月5日広島の平和記念公園に千羽鶴の共同献納、及び、原爆ドーム前でメッセージを掲げて平和宣言を行いました。今後はフィリピンの高校で制作した千羽鶴を日本の広島に届けてほしいという声が届いており、日本参加青年が実際に現地の高校に赴いて学生と交流する予定です。「#I am a peace warrior」として、一人ひとりが平和に関して何ができるかを考え、実行する活動を今後も普及させています。



SWYインド事後活動組織(SWYAA India)によるインド・ケララ州洪水被害復興活動

2018年8月、インド・ケララ州で過去最大の洪水および土砂崩れが発生し、降り続く大雨により、多くの丘陵地が壊滅的な土砂崩れに襲われました。多くの住宅が損壊し、多くの命が奪われ農地も深刻な被害を受けました。百万人が避難を余儀なくされ、その多くが州内の避難キャンプのシェルターで避難生活を送っています。州内の学校、大学、コミュニティホール、教会、モスク、寺院内等に約3000の避難キャンプが設置され、およそ百万人がキャンプに押し寄せました。

2019年1月及び2月に、SWYAA Indiaは教材や救援物資をケララ州バラッカド地区の支援を必要とする200名の学生に提供しました。主賓のインド議会メンバー(Alathur選挙区)のP.K.Biju氏から救援物資が贈呈され、Biju氏よりSWYAA India、日本青年国際交流機構、SWYAA Peru及びVadakkencherryの応用科学大学の全国社会サービスユニットに対し感謝の意が表されました。



Alumni Activities 同窓会活動

内閣府青年国際交流事業に参加した青年は自主的に同窓会を実施しています。その中で、日本・中国青年親善交流事業に参加した日本青年は、平成7年度より毎年総会を開き、会長等をおいて同窓会を開催しています。

中国派遣団同窓会

平成30年度中国派遣団同窓会は、2019年2月16日、17日に広島で開催され、25名が集まりました。2年前に派遣された団が幹事を行うことになっており、今回は第38団が担当しました。

原爆ドームの前に集合して、平和公園を散策した後、平和記念資料館を見学し、語り部の方のお話を聴きました。原爆が投下される前の広島の様子、中国や韓国から来ていた人たちの話、原爆投下後の体験談などを聴き、平和の大切さへの思いを強くしました。

総会では、第40団の派遣報告を聴き、各人の近況を夕食会に場所を移しながら、語り合い、翌日は宮島へ移動して厳島神社に参拝するなど、広島を堪能しました。

何よりありがたいのは、こうして毎年集まり、語り合うことができる世代を超えた仲間がいることです。この絆をしっかりと繋いでいきたいと思っています。



Disaster Relief Activities 大規模災害復興支援活動

西日本豪雨による被害に対する支援活動

2018年7月8日に発生した西日本豪雨(平成30年7月豪雨)の影響により、甚大な被害が発生し多くの方々が犠牲となりました。こうした事態において、日本青年国際交流機構(IYEO)では、被災県のIYEO会長と連絡を取り、各県における会員の被災状況を確認した上で、「日本青年国際交流機構大規模災害支援積立金に関する内規」に基づき、募金を開始しました。

西日本豪雨のための募金は、ソロモン諸島、スウェーデン、ウクライナ、ブルネイの事後活動組織からも届きました。世界中から届いた皆様のお気持ちを大切にお預かりし、集まった募金総額98万8,828円は岡山青年国際交流会、広島県IYEOにより、地域のニーズに合わせた活動に使われていることを以下の通り報告します。

広島県

広島県西部に位置する安芸郡坂町は、この度の豪雨災害により大きな被害を受けた地域の一つであり、今でも多くの被災者の皆様が自宅に戻ることができず、避難生活を余儀なくされています。その坂町の社会福祉協議会と協力し、避難施設の一つである応急仮設住宅の集会所にて、災害発生から3か月目となる節目の2018年10月6日(土)に『IYEO発の『がんばろう、広島。』』と題して、全国のIYEO会員や、海外の既参加者から集まった寄付を活用し、復興支援事業を企画、「つなぐcafé」を実施しました。

様々な形で広島を想ってくださっている方の気持ちをこの café を通じて「つなぐ」ことをコンセプトとし、IYEO ゆかりの企業・団体に御理解と御支援を賜りながら、被災者の皆様に御菓子や飲み物を提供しました。直接支援に駆けつけることは難しいが、自分たちの作ったもので広島を応援したいという方。過去に同じような経験をされているからこそ、今度は自分たちが応援する側として何かしたいという方。がんばり続けなければならない日が続く今だからこそ、ひと時でもホッと笑顔がこぼれるような時間を作りたいという方。そういった様々な方の気持ちを、この事業を通じて「つなぐ」ことの一助になれたのではと思っています。

協賛企業団体紹介(五十音順)

「うらぶくろ商店街振興組合」

ひと手間かった付加価値のある上質な商品やサービスを公園で人と人とのふれあい、地域の产品や製品の工芸品を紹介し伝えていく、蚤の市。The Trunk Market を主催される うらぶくろ商店街振興組合からすてきなテントをお借りしました。<https://www.trunkmarket.net>

「社会福祉法人尾道さつき会 すだちの家」

尾道市を中心に障害のある方の幼児期から成人期への様々な福祉サービス、高齢者の方への福祉事業、福祉サービスを担う人材の育成など幅広い事業で障害者と高齢者の支援をしています。広島県 IYEO ゆかりの団体であること、障害のある方や支援者との関わりを今後につなげたいと思い、障害のある方が利用されている事業所「すだちの家」の皆様にご協力いただきました。<http://www.satukikai.com/>

「社会福祉法人おりづる」

広島市西区観音新町にて、クッキー、陶芸、紙漉き、ハーブなどの製品を制作しています。この度は、食工房さくさくのおいしいクッキーをご協賛いただきました。2014年度、広島県IYEO が青年社会活動コアリーダー育成プログラムで外国青年を招へいた際の分科会プログラムに参加した方から紹介していただき、今回の縁となりました。<http://www.geocities.jp/oriduru1/>

「Dari K 株式会社」

フェアトレードと農業技術支援によってインドネシアのカカオ豆産業を支えるチョコレート専門店です。IYEO の活動目的に深くご理解とご協力を賜っている企業であり、世界と地域をつなぐ一助となる企業でもあるため、今回、協賛をお願いしました。<http://www.dari-k.com/>

岡山県

西日本豪雨災害において、被災地の中でも特に甚大な被害を受けた岡山県倉敷市真備町は、河川の氾濫による大規模な浸水被害が起き、町中が濁流に飲み込まれました(倉敷市の全半壊の住居は5,240棟)。学校も被災し、被災していない学校は避難所に。子どもたちは避難所、親戚の家、被災を免れた2階、近隣の市町村などバラバラに避難し、生活しています。岡山青年国際交流会は、認定NPO法人大タリバ(以後「カタリバ」)に協力し、カタリバが取り組む課題と事業のサポートをしました。



【カタリバ提供報告書より抜粋】

カタリバが実施する被災した生徒が多く通う高校や行政等と協力した生徒への支援活動

「本当に困っていること」を言い出せない子どもたちの心のケア

「母がショックを受けていますから、自分がしっかりしないと」「本当は雨が降るたびに不安になる」子どもたちは、周囲に心配をかけまいと気丈に振る舞っています。そんな子どもたちの「見えない声」に耳を傾け、心のケアとともに、「本当に困っていること」を支援に繋げています。

災害によって突然失われた子どもたちの日常をとりもどす

「家が遠くなってしまったから、どうやって学校に行ったらよいかわからない」「被災して経済的に困窮し、進学を諦めようかと思っている」面談をした生徒からは様々な悩み、困りごとが出てきました。学校へのアクセス・学用品支援、学習支援等、子どもたちの教育環境を少しでも日常に近づけることを目指しています。

IYEOからの寄付が活用された支援活動

学用品サポート(電子辞書): 自宅の再建やリフォーム代など、経済的負担が多くかかる中、学校生活に必要な学用品や部活動用品、制服などの再購入が難しい生徒たちがいることがわかりました。また、被災していない周囲との「格差」は、生徒たちにとって精神的な負担やストレスにつながっています。IYEOからの寄付は、被災によって電子辞書を失った生徒に電子辞書の提供に使われました。



2018年度に発生した大規模災害被害に対するIYEO復興支援活動

2018年度は、国内で発生した西日本豪雨の他に、世界各地で多くの災害が起こりました。IYEOとしては、災害発生国または都道府県の事後活動組織の依頼に基づき、IYEOとしての募金活動を実施することとしています。集まった募金はIYEO事務局を通じて、依頼のあった事後活動組織へ送金し、主に長期的な復興支援活動に役立てています。募金いただきました皆様、ありがとうございました。

大規模災害名	期間	総額	
西日本豪雨による被害	8月	¥988,828	広島県IYEOにより「つなぐcafé」の開催、岡山青年国際交流会がカタリバの活動へ協力
インドケララ州	9月	¥24,500 ^{*1}	SWYAA Indiaよりケララ州のパラッカド地区で支援を必要とする200名の学童へ学用品を寄付(P10参照)
インドネシア スラウェシ島	10月	¥118,000	SIIよりスラウェシ島のPaluエリアの被災者を対象とし、テント、プランケット及び食料品を寄付
北海道胆振東部地震	11月	¥33,000 ^{*1} ¥64,880 ^{*2}	北海道IYEOによる防災セミナーを1月に実施。7月には「Visit胆振」を開催し、被災地の方へ憩いの場を設けることや、各被災地を訪問するツアーを行う予定

*1「日本青年国際交流機構大規模災害支援積立金に関する内規」に基づき、大規模災害積立金の適用をすることが決定された場合、積立金より10万円を拠出して募金を開始します。10万円を超えて集めた募金は追加で送金されます。

*2「全国大会千葉大会」での募金

Participation in the International Conference and Collaboration

国際会議への参加、協力団体との連携

2018年度は3つの国際会議へIYEO会員が日本代表として参加し、日本青年としての発信をするとともに多くの学びを得ることができました。IYEOでは、協力団体の実施する事業への代表会員派遣もしています。

いずれも参加者の募集はIYEOメーリングリストにて行われ、IYEO内の選考を経て依頼元へ推薦されます。

The First Global Youth Festival for SDGs 2018(バーレーン)

2018年10月21-25日 バーレーン政府主催

小泉秋乃(SWY30)、大須賀史子(SWY30)、

大野晴香(SWY26)、神谷真由(INDEX 2016 リトアニア)

「こんなにも短い時間の中で自分自身の感性が180度変化した事実に、私自身非常に驚きが隠せないと同時に、こんなにも将来の地球を救いたいと願い、活動する若者が世界各国に存在し、変化を生み出す土台である私たち同士が繋がることができたことに、このフェスティバルの意義があったのではないか。世界の美しさを守るという大きな未来に立ち向かうためには、SDGsが現在何よりも欠かせない、私たちが一丸となって向き合うべき課題なのだと思う。(神谷)」



The 2nd ASEAN+3 "Young Entrepreneurs towards Innovative Agriculture Startups" (ベトナム)

2018年12月13-16日 ベトナム国際青年開発協力協会主催
上小澤 圭那(2015 SWYリーダーズ)、

朝比奈 友里(INDEX 2016 リトアニア)

「視察先の1企業では、数々の国際認証を取得した食品や消費財を生産している。サステナブルであることを付加価値と認める生産・消費がベトナムでも起こりつつあると知ることができた。しかし、日本でも同様だが、その質に対してプレミアムを支払う消費者意識を普遍的なものにするのはまだ簡単ではないだろう。それでも若い世代を中心に変わりつつあると運営ボランティアの学生が話してくれたことが印象的だった。(朝比奈)」

平成30年度北方四島交流訪問事業 (北方領土)

2018年7月27-31日／国後島・択捉島

独立行政法人北方領土問題対策協会主催、北連協主体

更田 匡史(中国ブロック幹事(当時))

「北方領土で生まれ育った元島民の平均年齢は80歳を超えている。これらの人々が元気なうちに島へ帰るために、この問題に臨んでいく必要がある」と感じている。今回の訪問団で事後の展開をSNSを使って共有したり情報を交換しあつたりしている。交流に参加し、いろいろな立場の人にお会い、そしてつながることの意味を感じた3日間でもあった。(更田)」

ASEAN+3 Youth Social Business Summit 2018(マレーシア)

2018年10月15-18日 ASEAN 事務局主催

浅井広大(SWY28)、

三橋利佳(SWY30ファシリテーター、INDEX 2018 ラトビア副団長)
「それぞれのパネリストに共通していることは、自分の想いを行動に移していること。活動を始めてから毎日が挑戦で乗り越える山ばかりだが、皆情熱を持ち続け、結果的に成功し、現在も継続した活動をいる様子が印象的だった。また、ASEAN+3カ国の起業家達と“ソーシャル”と“ビジネス”的な兼ね合いや、お互いのチャレンジをシェアでき、励ましながら様々な可能性を共に考えられたことは非常に有意義であった。(三橋)」

海の彼方にある、まだ見ぬ楽園へ。

澄み切った空の下に広がる青い海。

その彼方に待っているのは、名所旧跡や世界遺産、独自の文化です。

次の港までは、上質なサービスとお食事、

エンターテイメントに心も満たすことができます。

大切な方と一緒に、ぜひ、にっぽん丸の船旅をお楽しみください。



飛んでクルーズ北海道 A・B・C・D・Eコース 小樽発着 ご旅行代金(大人お一人様代金) 117,000円(スタンダードステート)~590,000円(グランドスイート)

▲2019年8月30日(金)~9月2日(月) ▲2019年9月2日(月)~9月5日(木) ▲2019年9月5日(木)~9月8日(日) ▲2019年9月8日(日)~9月11日(水) ▲2019年9月11日(水)~9月14日(土)

○詳しいパンフレットをご用意しています。最寄りの旅行会社または、下記へお問い合わせください。

商船三井客船 ☎0120-791-211 <https://www.nipponmaru.jp>

撮影:三好 和義